

## 第38回 全国盲重複障害者福祉施設研究大会を振り返って

生活支援課 主任 日高 武敏

まず、今回の全国盲重複障害者福祉施設研究大会の開催にあたって、多くのご協力を頂き誠にありがとうございました。おかげ様で、県外から参加者の皆様にも満足して帰っていただけたのではないかと感じています。

さて、今大会を準備の段階から振り返ると、大会準備委員会を平成27年11月より立ち上げ、毎月一回の委員会を開催し、準備を進めて参りました。その中で、「参加者同士に、多くの関わりを持って頂きたい。」また、「情報をより共有して頂いてから、各施設へ持ち帰って頂きたい。」という思いが提案されました。そこで、職員が参加する3分科会あり方を、「発表」⇒「質問」⇒「まとめ」という流れから、「自己紹介を兼ねた施設の情報交換」⇒「発表」⇒「グループ討議」⇒「まとめ」という流れに変更し、参加者それぞれが「発言」の機会を持てるように配慮致しました。また、大会2日目には、「分科会報告」の時間を設け、出席していない分科会の内容を、誰もが知る機会を得ることが出来ました。

また家族会では講師を招き、「成年後見制度とその活動について」と題して講演をして頂きました。その中で、活発な意見交換される姿を実際に拝見し、実りあるものとなったのではないかと感じています。

最後になりますが、今回の大会は多くの方よりご支援を頂いたからこそ、開催できたと心より思っております。今後も多くの方に賛同いただけるような法人を目指して参りたいと思います。本当にありがとうございました。

## エデンの園まつり みんな下食べて、騒いで、踊って、アソーボー!

生活支援課 チーフ 光森 勇人

10月21日(土)にエデンの園の祭りが開催されました。今年は地域の方々にも参加して頂けるよう夕方屋外開催を予定して計画しましたが、天候不良により園内だけでの開催となりました。しかし、利用者の方々が楽しんで頂けるようプログラムを利用者参加型の内容を多く取り入れ、祭りの楽しみでもある屋台には、外部業者に唐揚げ・おしるこ・肉巻おにぎりを依頼し、またゲストでみやざき犬(宮崎県公認キャラクター)を招き、利用者楽しい時間を提供しました。祭りは盛大に行われ、利用者だけでなく職員もとても楽しむことができ、祭り終了後は多くの利用者から「楽しかった」「おいしかったよ」「またやろうね」と嬉しい言葉を聞くことが出来ました。来年も今年以上の催し物を企画し、利用者の方々の笑顔に繋げていきたいです。そして、一粒の麦をご覧の皆様も来年は是非、エデンの園の祭りへお越しください。



楽しい催し物で大変盛り上がりました。



高山こずえさんと河野真一さんによるミニコンサートも開催されました。

## 陶芸教室 麦わらぼうし

指導員 川添 博文

10月28日土曜日、陶芸教室を行いました。今回は、エデンの園と担当職員の協力を得ての開催でした。陶芸教室に向けて活動に粘土を取り入れ、感触、指先の動き、創造性を養うことを目的に準備をしてきました。その為か作業を始める前から「どこの粘土なの？」「何県のなんていう山の粘土？」「粘土はどうやってとれるの？」等、職員も驚くほど熱心に質問していました。約90分間、器や置物やキャラクター等、思い思いのものを作って楽しみました。作業後には、窯焼き装置を見学し、職員がどのように土が焼きあがるのかを説明すると、「へー」「すごい」等の言葉を発しながら真剣に説明を聞き入っていました。完成は2月。子ども達は、出来上がりを今か今かと楽しみにしています。作品を手にとった子ども達の姿を想像しながら、私達も楽しみにしています。最後に、今回の陶芸教室開催に伴って、関係者各位ご協力を頂きまして誠に有難うございました。



## グループホーム青い鳥 新設から1周年 振り返って

青い鳥 生活支援員 高山 直裕

新しくグループホーム青い鳥が建てられ1年が経ちました。利用者の方もそれぞれ生活に慣れて来て、入所生活で見られなかった一面を見せるようになり、それぞれのカラーが出てきたと感じています。

平成28年10月1日、グループホーム青い鳥に引っ越して来て新たな生活がスタートしました。初めは、生活環境に慣れることからでした。視覚障がいの方にとっては、新しい場所なので苦労したと思います。自分の部屋、トイレの場所、全てを覚えることからでした。みんなで協力しながら、生活が始まりました。休日は近所の公園へ散歩に出かけたり、町内のドライブに出かけたりしています。4月は、垂水公園へお花見ドライブ、8月はスイカ割り・花火を行いました。12月、クリスマスツリーを飾りました。沢山のイベントを楽しまれています。また、公共の乗り物での外出を経験したりと楽しみもいっぱい増えたようです。笑顔がたくさん見られるようになりました。“自分で出来ることは、自分で行う”を心がけ、それぞれが楽しい生活を送られています。

これからも、楽しい生活が送れるような支援を頑張っていきたいと思います。



平成29年8月20日 撮影